

「オリジナル食器をつくろう」と題した食器の作成教室を南丹市日吉町生涯学習センターで行いました。

市内の方を対象に同センターが行った教室には、親子連れや地域の子もたち、主婦などおよそ30人が参加。参加者らはコーヒーカップやケーキ皿、サラダボールなど用意された白磁器に、花柄やかわいい動物など、さまざまな模様が描かれた転写シールを水でふやかして張り付け、思い思いの作品を作っていました。

食器は、同センターによって焼き上げられた後、参加者に渡されます。

(4/30・「オリジナル食器をつくろう」)

「世界に一つの食器をつくろう」



▲好きな絵柄を張り付けて完成

「生きがいを持って元気の毎日を送りましょう」

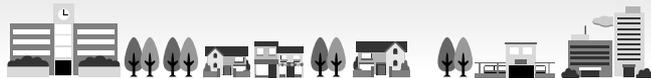
(4/27・南丹大学開講式)



▲鈴木住職の講演に耳を傾ける参加者

南丹市八木公民館が、地域のお年寄りの生涯学習として取り組んでいる「南丹大学」の開講式を同公民館で行いました。式では、今年度登録した220人の受講生に事業計画が説明されました。また、地元の福寿寺の鈴木春海住職による「いきいき 生きる」と題した講演が行われました。鈴木住職は「70歳、80歳からが本当の人生。自分の趣味を高めることで得られる充実や達成感を生きがいに、元気の毎日を送りましょう」と受講生に呼びかけていました。

みんなのひろば
まちの話題を
紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

「京都伝統工芸大学校で入学式を挙行」

(4/13・京都伝統工芸大学校入学式)

4/16・京都建築大学校入学式

今年度から名称を新たにされた〈専〉京都伝統工芸大学校(松村賢治校長・生徒数453人)、〈専〉京都建築大学校(吉田晋校長・生徒数2,077人)の入学式が園部町小山東町の両校で行われました。

〈専〉京都伝統工芸大学校の入学式では松村校長が「大きな夢を持って、それに向かってまい進してください」と式辞を述べられました。また、新入生を代表して加藤由香子さんが「豊かな感性を身につけ、伝統工芸の継承者となれるよう努力していきます」と決意を述べられました。

今年度、〈専〉京都伝統工芸大学校では198人、〈専〉京都建築大学校では589人が入学されました。



▲決意を述べられる加藤由香子さん